

J-CHECK英語版の概要(1)

情報業務課





J-CHECKは化学物質の審査等における安全性情報を広く国民に発信するために、厚生労働省、経済産業省、環境省及びNITEにより共同で開発。

英語版(平成22年度)は、化学物質の試験データをリスク評価のための標準様式であるSIDS形式で提供し、OECDが開発しているGlobal Portal - eChemPortalと連携し、日本の安全性点検データを広く海外に発信する。

収載されている情報

化審法関連物質に関する情報

- 〇化審法に関する情報(官報公示整理番号、化審法分類(旧化審法))
- ○名称等(化学物質の名称、CAS番号、構造式)
- 〇分解性・蓄積性、生態影響に関する情報(試験方法、安全性点検データ等)

J-CHECK英語版を構成するデータベース

既存化学物質の安全性点検データ(概要、SIDS形式)

昭和48年の化審法公布の際、現に製造又は輸入が行われていた化学物質(既存化学物質)は化審法の事前審査の対象とはせず、国が安全性の総点検を実施することとされた。J-CHECK(英語版)では、安全性点検結果の概要、報告書の情報をSIDS形式で提供している。

【安全性点検データ項目】 分解度試験、濃縮度試験、分配係数試験 藻類生長阻害試験、ミジンコ急性遊泳阻害試験 ミジンコ繁殖抑制試験、魚類急性毒性試験

魚類延長毒性試験、魚類初期生活段階毒性試験





Japanチャレンジプログラム (データ掲載準備中)

産業界と国の連携により化学物質の安全性情報を収集し、広く国民に情報発信を行う枠組み。優先して安全性情報を収集・発信すべき物質として国内年間製造・輸入量1000½以上の約650物質を選定。

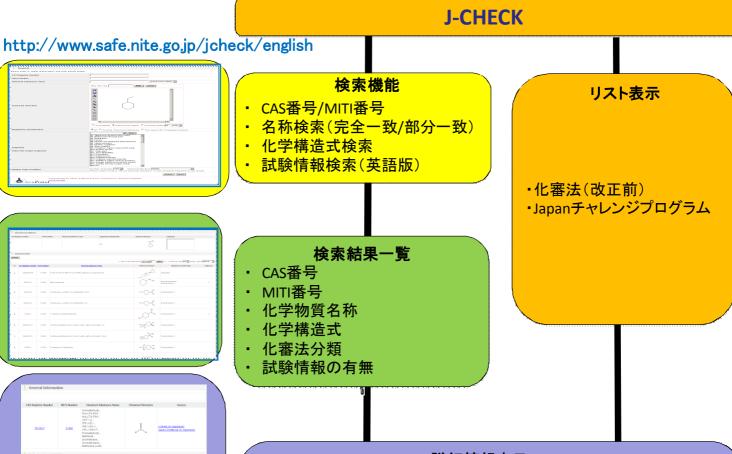


J-CHECK英語版の概要 (2)

情報業務課

検索手順

化学物質名称、CAS番号、官報公示整理番号(MITI番号)、化学構造式(部分、 類似)、試験情報の有無から検索が可能です。



General Information

Of Inquiry Inades

Of Inquiry Inades

Of Inquiry Inades

Int Industry

Interest of Inquiry Industry

Interest of Inquiry Inquiry

Interest of Inquiry Inquiry

Industry

Indust

- 詳細情報表示
- 化審法分類
- 官報公示整理番号
- 化学物質名称
- 構造式
- 試験結果

(分解度試験、濃縮度試験、生態影響試験)等

- 試験報告書(PDF:日本語)
- 新規化学物質の判定に用いた知見を審査情報(PDF:日本語)

以下の情報を提供:

- ・ 化審法に関する判定結果等の情報収集
- 構造式による部分検索が可能(検索結果一覧画面にて)
- · 既存化学物質の安全性データ(SIDS形式)等の情報
- 既存点検試験報告書(pdf形式:日本語)
- · japanチャレンジプログラムデータの確認



J-CHECK英語版の OECD eChemPortalへの参加

情報業務課

OECD eChemPortalとは何か

eChemPortalとは、各国の機関等が運営するデータベースの化学物質安全性情報を 一括で検索するためのポータルで、OECDが無料で提供。22データベースが参加。

J-CHECK (英語版) の参加

化審法安全性点検のデータベースとして参加している。特に、濃縮度試験結果は海 外から強く関心が持たれている。

検索項目

化学物質の番号や名称

- CAS番号、EC番号、MITI番号(官報公示整理番号)、UN番号等の番号。
- 化学物質名称(日本語可)。

参加データベースの選択

• J-CHECK、ACToR、ECHA CHEM、ESIS、US HPVIS、OECD HPV、IRIS等。

化学物質のデータ検索

物理化学性状、NOEL、GLP信頼性、テストガイドライン等の条件で絞り込み検索ができる。

· 物理化学的性状· 環境中運命· 生態影響· ヒト健康影響

eChemPortal

物質検索(22データベース)

- 物質番号
- 物質名称

データ検索(3データベース)

- J-CHECK、ECHA CHEM、OECD HPV · 物理化学的性状
- 環境運命
- ヒト健康影響

物質検索



データ検索



データの表示 物質情報、試験情報へのリンク



http://www.echemportal.org/echemportal

- J-CHECKがOECD eChemPortalに参加することにより、OECDから世界に 日本の化学物質安全性点検データを発信している。
- リスク評価のため、世界各国の化学物質の試験データを確認できる。